

自立と協働へ「勇往邁進」 真の「ゆり中生」への第一歩

～1年生、ハチ高原での転地学習を終えて～

1年生8クラス262名は、5月28日（木）29日（金）の2日間、兵庫県北部にあるハチ高原を訪れ、「転地学習」を実施いたしました。入学から約2か月。中学校生活にも少しずつ慣れてきたこの時期に、大自然の中で仲間と寝食を共にするこの行事は、1年生にとって極めて大きな意味を持つ挑戦でした。私はこの2日間、生徒たちと行動を共にしながら、一人ひとりの表情や行動をじっくりと見つめていました。そこで目にしたのは、学校の教室だけでは見ることのできない、頼もしいほどの熱意、優しさ、そして驚くべきスピードでの「成長」の姿でした。今回は、ハチ高原で1年生が紡ぎだした数々の感動のシーンを、生徒の皆さん、保護者の皆様へお届けいたします。

▲鉢伏山を目指して

▲キャンドルサービスの一場面※HP 削除

■ 霧雨を吹き飛ばした「声の掛け合い」と、闇を照らした「力強い決意」

1日目、ハチ高原に到着した生徒たちを待っていたのは、大自然の洗礼でした。オリエンテーリングの最中、高原特有の霧雨が降り出し、一時は天候が心配される状況となりました。しかしそんな不安を吹き飛ばしたのは生徒たち自身の「絆」でした。クラスごとにしっかりと列をつくり、誰一人遅れることなく、互いに「頑張ろう!」「もう少しだよ!」と自然に声を掛け合い、励ましあいながら、無事にゴールインを果たしました。困難な状況にあっても、周囲を気遣い、協力し合う微笑ましい姿が道中のあちこちで見られ、私の心は温かい安心感で満たされました。そして夜、体育館で行われた「キャンドルサービス」は、本行事の大きなハイライトとなりました。静寂と暗闇に包まれた空間に、「火の神」が登場。揺らめく聖なる火を前に、各クラスの代表がこれからの学校生活に向けた決意を表明しました。その凛とした佇まいと、大自然に誓った「力強い決意」の言葉の

数々には、正直に申し上げて鳥肌が立つほど驚かされました。その後のレク大会では、レク系の生徒たちが何日も前から一生懸命に考えて準備してきたゲームが行われました。フロア全体が、参加する生徒たちの圧倒的な熱気と弾けるような笑顔に包まれ、学年の心の距離が一気に縮まった最高の夜となりました。

▲魚つかみの一場面

▲飯盒炊さんの様子 ※HP は削除

■ 五感で挑んだ大自然の恵み・・・命をいただく格別の味

2日目は、高原の爽やかな風を感じながら、大自然を満喫する「魚つかみ」と「飯盒炊さん」に挑戦しました。冷たい山の水が流れる川に恐る恐る足を入れ、すばしっこく泳ぐアマゴを追いかける生徒たち。最初は「キャー!」と声をあげていた生徒たちも、川の水の冷たさを完全に忘れるほどの熱気で行く手を阻み、見事につかみ捕っていきました。自分たちの手で生きている命と向き合い、下ごしらえをして、煙に目をこすりながら炭火でじっくり焼き上げたアマゴの味は、まさに格別だったようです。五感を使って「自然の恵み」と「命の尊さ」を学んだ経験は、生徒たちの心に深く刻まれたことと思います。

■ 夜の室長会で灯った熱意、そして見事達成した「ZVF」

今回の転地学習に向けて、1年生は非常に高いハードルとなる目標を掲げていました。それが「ZVF（ゼロボイスフォーメーション＝私語なしでの集合・点呼の取組）」です。集団行動において最も重要であり、かつ最も難しいこの挑戦。実は1日目の昼間はなかなかうまくいかず、注意される場面もありました。「やはり、1年生が最初から完璧にやるのには時間がかかるかな」正直私の心のどこかでそう思っていました。しかし、私のその予想は夜の「室長会」で良い意味で見事に裏切られることとなります。集まった実行委員や各部屋のリーダーたちの議論は、驚くほど真剣そのものでした。「なぜ今日できなかったのか」「どうすれば明日は全員で協力できるか」誰かに

≪ 7月の行事予定 ≫

日	曜	行 事 等	講師等	給食
1	水	専門委員会	SSW・子サ	1・2・3
2	木	ノー部活デー 定時退勤日（17：30）	子サ	1・2・3
3	金	全校集会	SC・子サ	1・2・3
4	土	三田市総体（サッカー）		
5	日	三田市総体（サッカー）（予備日）		
6	月	ノー部活デー	子サ	1・2・3
7	火	個人懇談（45分×4）	子サ	1・2・3
8	水		SSW・子サ	1・2・3
9	木	↓ノー部活デー（丹有大会出場の部活のみ可）	子サ	1・2・3
10	金	PTA 執行委員会	SC・子サ	1・2・3
11	土	丹有総体		
12	日	丹有総体		
13	月	丹有総体（予備） ノー部活デー	子サ	1・2・3
14	火	個人懇談（45分×4）	子サ	1・2・3
15	水	↓	SSW・子サ	1・2・3
16	木	学年集会 大掃除 ノー部活デー ハニ－FM（2年生）	子サ	1・2・3
17	金	終業式 最終下校（16：30） 定時退勤日（17：30）	SC・子サ	
18	土	夏季休業～8/27 学校運営協議会		
19	日			
20	月	海の日		
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土	吹奏楽コンクール西阪神地区大会（17：00～西宮市民会館）		
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

子サ：子どものサポーター SC：スクールカウンセラー
SSW：スクールソーシャルワーカー 〔最終下校〕17：30
≪8月の主な予定≫（夏季休業中は16：45）
1：三田まつり 13～15：学校閉庁 22：三田幸せプロジェクト
22：あかしあ台夏祭り 28：2学期始業式
31：実力・課題テスト

強制されたからではなく、「とにかく自分たちの手で、この目標を絶対に達成したいんだ！」という熱い思いとエネルギーが、彼らの言葉からひしひしと伝わってきました。そして迎えた2日目の朝、全体集会の場でリーダーたちが自分のクラス、部屋の仲間たちに向かって、堂々とかつ真摯に語り掛ける姿がありました。リーダーの熱意に応えるように、262名のフォロワー（支える側）の意識も一瞬で変わりました。静寂が広がり、全員が瞬時に行動を合わせる……。1年生は、見事な「ZVF」を自分たちの力で達成してみせました。

■「Be ゆい中生！」を体現した262名の「彩高(最高)の仲間」へ

出発前、私は1年生の皆さんに1つのお願いをしました。それは「Beゆい中生！・・・素晴らしい先輩たちの伝統を受け継ぎ、この転地学習を通して、心も体も真のゆい中生になって学校に帰ってこよう」というものでした。1年生は見事その約束を果たしてくれました。今回のスローガンは「勇往邁進～彩高(さいこう)の仲間と共に～」でした。ただ仲良く過ごすだけでなく、目標に向かって一丸となり、互いの個性を認め合い、高めあう。ハチ高原で見せてくれた皆さんの姿は、まさにスローガンそのものであり、一人ひとりが「真のゆい中生」へと脱皮した瞬間でした。この転地学習で得た「自立する力」と「仲間と協働する喜び」は、これからの学校生活、そして授業や今後の行事において、何にも代えがたい大きな財産となります。ハチ高原で流した汗と笑顔を忘れず、1年生がここからさらに大きく、豊かに成長していくことを心から期待しています。

保護者の皆様、ご家庭でのこれまでのご準備と、温かい見守りを本当にありがとうございました。遅くなったお子様たちのこれからの学校生活を、今後とも全教職員で支えてまいります。

● 思い出のフンシーン 生徒作品より



● 生徒の感想

- ・登山では思っていた以上に長くてしんどかったです。でもてっぺんに行ったときは達成感があり、最高でした。天気が悪く前が見えなかったり、地面がぐちゃぐちゃで滑りそうだったけれど、その一つ一つが最高の思い出になりました。
- ・途中でリタイアしたけど楽しかったです。せっかくなら最後まで登りきりたかったです。けれど、下山している時にタヌキが現れたり、先生との会話が楽しかったです。先生の意外な一面を知れて楽しかった。
- ・キャンドルサービスでの火の神が面白かったです。みんなが「校長先生！」

と言って、火の神が「違う！私は火の神だ」と言ったやりとりが心に残っています。

- ・キャンプファイヤーができなかったのは残念だったが、キャンドルサービスもすごかった。火が消えそうになった時、火の神が手をふわっとかぶせたら火が復活していたから、本当に火の神やんとびっくりした。

- ・飯盒炊さんでは、かまどで火をおこすのが大変でした。火がついてもすぐ消えたり、煙が目や鼻に入ったりとても大変でした。でも、班のみんなと協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。

- ・最初は火がつかず苦戦していたけど、先生に手伝ってもらって火がついたら、自然と交替で火を見たり、役割分担をして片付けたりできました。カレーを混ぜていたら「かわろうか？」と声をかけてくれ、みんなの優しさが見えました。

- ・魚つかみを初めてしました。アマゴを手で触るのは不思議な感触でした。生きている魚を手で掴むのは初めてだったけど、貴重な経験をしたと思いました。焼いて食べてみたら身がふわふわで美味しかったです。命のありがたさを感じられた体験でした。

- ・感謝を忘れないことを意識しました。目的に向かって進むには、もちろん自分の頑張りも必要だけれど、周りの人たち（仲間や先生、施設の人）の支えもある。だから、挨拶のときはしっかりとお辞儀をしたり、自分から感謝を伝えにいく、部屋はキレイに使い汚れたらサッと掃除することを頑張りました。

- ・1年生で最初で最後の宿泊行事だったけど、トランプをしたり恋バナをしたり、みんなでたくさん話すことで、みんなのいい個性を見つけることができ、絆を深めることができて良かったです。

- ・私はこの転地学習で「信頼できる友達を作る」という目標に一步近づいたと思います。部屋やバスであまり話したことのなかった人と話し、仲を深めることができました。「彩高の仲間と共に…」として、この転地学習で深まった絆をこれからの学校生活で生かし（協力する、助け合う、教え合う）、彩高の仲間と共にみんなで頑張っていきたいと思います。

今年のゆい中の熱中症対策

（保健室の先生より）

気象庁によると去年の夏の気温は 1946 年の統計開始以降、北・東・西日本で歴代1位となり、日本国内での熱中症による救急搬送人員は100,510 人とされています。

今年の夏も全国的に気温が高いと予想されており、熱中症対策は必須です。学校においては、それほど気温の高くない（25～30℃）時期から熱中症対策について生徒の皆さんに呼びかけてきましたが、いよいよ本格的な夏を迎えるにあたり、再度熱中症対策について注意喚起していきます。ご家庭におかれましても、十分な水分のご準備や服装等での暑さ対策等、ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、学校における教育活動実施の判断は、暑さ指数（WBGT）に基づいて行っています。環境省熱中症予防情報サイトで指数を調べ、指数が「31」を超えたときは、体育等の運動は中止するよう放送で知らせています。

＜熱中症を防ぐために＞

- ・睡眠不足や朝食の欠食等は、体調不良の原因となることもあるので気を付けましょう。

- ・暑い日には帽子等により日差しを遮ること、通気性・透湿性の悪い服装等を避けましょう。（暑さ対策として、制服の裾をズボンやスカートから出して構いません。登下校や体育等運動の際は、帽子を被って日差しを遮りましょう。）

- ・汗をかく際には水分とともに塩分も失われるため、スポーツドリンク等塩分を補給できる水分を持参しても構いません。（ゆりのき台中学校では、年間を通じて持参可能です）

ただし、水筒がスポーツドリンクに対応しているかどうか各自でご確認ください。

- ・毎日十分な量の水分を持参しましょう。

- ・万が一水筒の水分がなくなった場合は、各フロアに設置している浄水器等も活用しましょう。

浄水器は、以下の場所に設置しています。

①部室棟前水道	
②生徒昇降口（体育側水道）	
③生徒昇降口（職員室側水道）	
④1階北館水道（3年2組近く）	
⑤2階南館水道（2年1組近く）	
⑥3階南館水道（1年4組近く）	

- ・自身の体調をよく確認し、不調が感じられる場合は、先生に申し出ましょう。

- ・兵庫県に「熱中症特別警戒アラート」が発表された場合、三田市立学校は臨時休業です。

- ・水筒を斜めかけ等にした状態で転倒した場合、内臓を損傷する等重篤な事故が発生するリスクがあります。

①水筒はなるべくカバン等に入れましょう。

②水筒を首や肩にかけた状態で走らないように気を付けましょう。

③活動の際には水筒を置きましょう。

7月のゆり中

個人懇談 7日(火)～15日(水)

＜10日(金)・13日(月)のぞく＞

懇談時間は短いですが、お子様のより良い成長を目指して、学校と家庭が心を合わせお話ができればと思います。学習面や生活面でわからないことや気になること、またご意見やご要望などがありましたら、遠慮なくお話しください。丁寧に対応してまいります。また、3年生の保護者の皆様は、進路について不安を持たれている方も少なくないと思います。日々積み重ねてきた「キャリア学習」を活かし、進路担当を中心に、最善の進路選択をサポートできればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。